



ワークショップ内容の詳細が決まりました！

エネルギーと平和

—未来のために わたしたちができること—

〈講師〉 伊与田昌慶 氏 認定 NPO 法人気候ネットワーク 研究員

日時：2014 年 11 月 22 日 (土) 14:00～15:30 (13:45～受付開始)

場所：立命館大学国際平和ミュージアム 2 階ミュージアム会議室

定員：先着 30 名 (大学生、大学院生)

申込：立命館大学国際平和ミュージアムまでご連絡ください！

TEL：075-465-8151 電話受付時間 9:30～17:00 月曜休館日を除く

* 参加費無料 当日参加可

スケジュール

14:00～ 導入・気候ネットワークの活動について

14:20～ ワークショップ —コンセントの向う側—

- 1) 各グループごとに「コンセントの向う側」についてディスカッション
- 2) 講師よりコメント及び、「エネルギーと平和」という視点で、エネルギーに関連する様々な問題についてのお話を聞きます。
(原発事故、核廃棄物、気候変動、資源枯渇、紛争、人権侵害等)
- 3) それらの問題を解決するために、わたしたちに何ができるか、それぞれのグループでディスカッションし、発表。

15:10～ まとめ・質疑応答

15:30 終了

ご参加をお待ち
しています！



学生企画スタッフのみなさん



社会を「変える」、地球を
ゆで「かえら」させないために。

2014 年度後期

国際平和ミュージアム NGO ワークショップ

エネルギーと平和

—未来のために わたしたちができること—

最後に環境問題について考えたのはいつだか覚えていますか？

東日本大震災から約3年経った今、つらい過去とするのだけではなく、
未来に向けて考える機会にしましょう。



いよだ まさよし

〈講師〉 伊与田昌慶 氏 認定 NPO 法人気候ネットワーク研究員

1986 年愛知県生まれ。2009 年立命館大学国際関係学部卒業。2011 年京都大学大学院地球環境学舎修士課程修了（地球環境学修士）。国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）に 2007 年より毎年参加し、交渉をフォローするとともに当該分野の情報発信・催しの企画運営を行う。また、自治体の温暖化対策関連条例の動向や先進事例の調査、情報提供に取り組む。2011 年より気候ネットワーク勤務。著書に『地域資源を活かす温暖化対策自立する地域をめざして』（共著、学芸出版社、2011）。

日時：2014 年 11 月 22 日(土) 14:00～15:30

(13:45～受付開始)

お申し込みはお電話で!!
興味を持ったならお早めに

場所：立命館大学国際平和ミュージアム 2 階ミュージアム会議室

定員：先着 30 名（大学生、大学院生）

申込：立命館大学国際平和ミュージアムまでご連絡ください！

TEL： **075-465-8151**

電話受付時間 9:30～17:00 月曜休館日を除く

参加費無料
当日参加可

ワークショップの内容についての質問はメールで受付！

問合せ：齋藤 (so0304hk@ed.ritsumeikan.ac.jp)

スケジュール：①導入・気候ネットワークの活動について（20分）

②ワークショップーコンセンソの向こう側ー（50分）

③まとめ・質疑応答（20分）

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

企画：立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ

齋藤怜（産社3） 奥野彰子（文2） 岩井友美（産社2） 鈴木奈月（国関1）

「提案×発信×行動」で社会を変えよう！

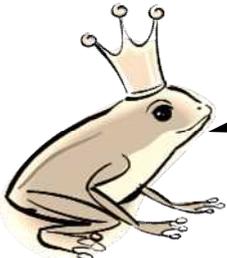
【気候ネットワークとは】

気候ネットワークは、地球温暖化防止のため市民の立場から「提案×発信×行動」する NGO/NPO です。ひとりひとりの行動だけでなく、産業・経済、エネルギー、暮らし、地域等をふくめて社会全体を持続可能に「変える」ために、地球温暖化防止に関わる専門的な政策提言、情報発信とあわせて地域単位での地球温暖化対策モデルづくり、人材の養成・教育等に取り組んでいます。

気候ネットワークは、人々が安心して暮らす事ができるよう、公平・平和・豊かな社会・経済に転換し、低炭素で持続可能な社会をつくっていくことを目指しています。(気候ネットワーク HP より)



企画スタッフのコメント



齋藤 怜 (産社3)

2011年3月、私は福島で原発事故に遭い、エネルギーの問題と向き合うことになりました。それから、3年8か月。どれだけの方が、生活に欠かすことのできないエネルギーについて、関心を持っているでしょうか。多くの方に、エネルギーについて知ってもらいたいという思いで、気候ネットワークの講師の方をお招きして、ワークショップを企画させていただきました。エネルギーの今について、学び考えてみませんか。ご参加お待ちしております！

現在、世界では毎日テレビや新聞で騒がれている問題があります。それは、エネルギー問題です。なぜ、エネルギー問題がこんなに騒がれているのかというとエネルギーというのは私たちの身近なところにあり、必要不可欠なものだからです。そのため、私達はエネルギーについてしっかりと学ばなければなりません。専門の講師の方を囲んで一緒にエネルギー問題について考えてみませんか？

奥野 彰子 (文2)

TED Conference (※)で統計学者ニック・マークスは「地球幸福度指数」というテーマのプレゼンテーションにおいて「恐怖は逃走に結びついている。本能的に動物は恐怖に出会うと固まり、逃げる。」「今まで環境問題は世界滅亡や人類滅亡の映画などを通して人間の恐怖に訴えてきたが、もう十分だ。これからは環境問題を自ら見直して、前進し始めなければならない。」と述べている。「**Come on!**」前進を始めよう。

※Technology Entertainment Design が主催する
世界規模の講演会のこと

岩井 友美 (産社2)



鈴木 奈月 (国関1)

私たちの最も身近にあるエネルギー、電気。あまりにも当たり前存在しているため、私たちはそれについてあまり深く考えたことがないのではないのでしょうか。しかし、エネルギーの在り方について考えることは将来の私たちの平和について考えることでもあります。

この機会に、ぜひみんなでこれからのエネルギーについて話し合い、わたしたちが平和のためにできることを考えてみましょう。